

アメリカの読み聞かせ

浜崎 秀夫
(尚絅短期大学)

1. 問題の所在

大人が子どもに本を読んであげるといふ行為は、子どもの言語発達および人格発達に重要な影響を及ぼすと考えられる。読み聞かせの言語発達上の特徴は、大人が書きことばを読みあげ、子どもが書きことばを耳で聞くという点にある。

子どもが書きことばを、目で読むのではなく、耳で聞くという特徴が、子どもの話しことばを洗練し、自分で書きことばを読もうとするときの抵抗を少なくするのである。

では、この読み聞かせの特徴は、日本およびアメリカの子どもの言語発達にどのような影響を及ぼすのだろうか。同じような影響を及ぼすのだろうか。それとも、かなり異なる影響を及ぼすのだろうか。

この読み聞かせの子どもへの言語発達に及ぼす効果の日本差ということも考える場合に、どのような要因を考慮に入れなければならないのだろうか。

読み聞かせは、大人が本を“読み”、子どもに“聞かせ”るといふ行為である。“読み聞かせ”という表現には、大人の側の主観性もしくはある種の意志および義務が感じられる。つまり、“読んであげよう”“読んであげねばならない”という意志や義務である。

とすれば、親の読み聞かせに対する考え方や読み聞かせの実態が日本と異なるれば、その結果として子どもへの読み聞かせの効果が異なってくると思われるのである。

II. 研究の枠組み

目的：読み聞かせの子どもへの言語発達に及ぼす効果の日本差という問題を考えるとき、日本の親の読み聞かせ親および読み聞かせの実態の違いが重要な要因の一つとなる。そこで、まずアメリカの親の読み聞かせ親および読み聞かせの実態を調査してみた。

今回の研究の目的は、アメリカの親の読み聞かせ親親および読み聞かせの実態を明らかにすることにある。

対象：1989年4月より1990年3月までモンタナ州のミズーラにあるモンタナ大学に滞在した。今回の研究の対象は、ミズーラの町にある三つの幼稚園

の親である。私立のクラーク・フォーク・スクール、公立のローウェル・スクール、ヘッド・スタート・プログラムの幼稚園の三つである。

クラーク・フォークの親に関しては、36名全員から調査用紙を回収できた。ローウェルからは24名、ヘッド・スタートからは14名分回収できた。

今回の調査対象はクラーク・フォーク36名(子どもの年齢5才~5才11か月)、ローウェル24名(5才6か月~6才6か月)およびヘッド・スタート14名(4才~5才)、合計74名である。

方法：読み聞かせ・語り聞かせに関する調査というタイトルの調査用紙が用いられた。調査用紙の質問内容は次のようなものであった。

- ① あなたの子どもにいつ読み聞かせ・語り聞かせをはじめましたか。
- ② 子どもが何才にならまで読み聞かせ・語り聞かせを続けたいと思っていますか。
- ③ 一日の中で、いつ読み聞かせ・語り聞かせをしていますか。
- ④ 一週間に付き何回読み聞かせ・語り聞かせをしますか。
- ⑤ 一回につきどれくらいの時間読み聞かせ・語り聞かせをしますか。
- ⑥ あなた、あるいはあなたの夫(妻)は読書が好きですか。
- ⑦ あなた、あるいはあなたの夫(妻)は子どもに読み聞かせ・語り聞かせをするのが好きですか。
- ⑧ あなたの両親は、あなたが子どもの頃、あなたに読み聞かせ・語り聞かせをしてくれましたか。
- ⑨ あなたの夫(妻)の両親は、あなたの夫(妻)が子どもの頃、あなたの夫(妻)に読み聞かせ・語り聞かせをしていましたか。
- ⑩ あなたの子どもはおよそ何冊の本をもっていますか。
- ⑪ あなたの子どもはどんな種類の本をもっていますか。
- ⑫ あなたは子どもと一緒に図書館に行きますか。
- ⑬ あなたは、月頃読み聞かせと語り聞かせのどちらをより多く子どもにしますか。
- ⑭ 子どもの好きな本を三冊書いて下さい。

Ⅲ. 結果

①から⑩までの質問項目に対する結果を次に記述する。Cは77-7・フォー7の結果、LおよびHはそれぞれローウェル、ヘッド・スタートの結果である。

①読み聞かせをいつはじめるか。

C; 誕生前から2才までの幅がある。ただし、36名中35名までは1才以前に読み聞かせをはじめている。
L; 誕生前から5才までの幅がある。23名中14名(61%)が1才以前にはじめている。

H; 2か月から4才7か月までの幅がある。13名中8名(62%)が1才以前にはじめている。

②何才まで読み聞かせを続けるか。

C; 5才から出来ずかぎり遅くまでの幅がある。31名中24名(77%)が出来ずかぎり遅くまでと回答。
L; 8才から出来ずかぎり遅くまでの幅がある。23名中12名(52%)が出来ずかぎり遅くまでと回答。
H; 4才から出来ずかぎり遅くまでの幅がある。13名中3名(23%)が出来ずかぎり遅くまでと回答。

③一日の中でいつ

C; 36名中29名(81%)が寝る前、5名(14%)が機を見ていつでもと回答。

L; 24名中15名(63%)が寝る前、11名(46%)が機を見ていつでもと回答。

H; 14名中9名(64%)が寝る前、7名(50%)が機を見ていつでもと回答。

④一週間につき何回

C; 36名中25名(69%)が毎日、残りは3~6回。

L; 24名中6名(25%)が毎日、残りは2~5回。

H; 14名中7名(50%)が毎日、残りは2~5回。

⑤一回につき何分

C; 10分から120分までの幅がある。36名中22名(61%)が10~30分である。

L; 10分から60分までの幅がある。24名中18名(75%)が10~30分である。

H; 10分から60分までの幅がある。14名中8名(57%)が10~30分である。

⑥両親は読書が好きか

C; 36名中30名(83%)が両親共に好きと回答。

L; 24名中14名(58%)が両親共に好きと回答。

H; 14名中7名(50%)が両親共に好きと回答。

⑦両親は読み聞かせをするのが好きか

C; 36名中30名(83%)が両親共に好きと回答。

L; 24名中15名(63%)が両親共に好きと回答。

H; 14名中8名(57%)が両親共に好きと回答。

⑧⑨両親は小さい頃読み聞かせをしもらったか。

C; 36名中22名(61%)が両親共に経験あり。

L; 24名中10名(42%)が両親共に経験あり。

H; 14名中8名(57%)が両親共に経験あり。

⑩何冊本をもっているか。

C; 15冊から300冊までの幅がある。中には、私設の子ども図書館をもっているという回答もあった。

0~50冊12名(33%)、51冊~100冊(28%)
101~300冊14名(39%)。

L; 25冊から350冊までの幅がある。0~50冊13名(57%)、51~100冊5名(20%)

101~350冊5名(22%)。

H; 3冊から200冊までの幅がある。0~50冊10名(71%)、51~100冊2名(14%)、

101~200冊2名(14%)。

⑪本の種類

C; 4種類以上36名中26名(72%)

L; 4種類以上24名中16名(67%)

H; 4種類以上14名中8名(57%)

⑫親子一緒に図書館へいくか。

C; 36名中29名(81%)

L; 24名中18名(75%)

H; 14名中7名(50%)

⑬読み聞かせと語り聞かせの比率

C; 読み聞かせのみを実施、又はほとんど読み聞かせのみ35名中35名(100%)

L; 24名中21名(88%)

H; 13名中9名(69%)

Ⅳ. 考察

この結果から、アメリカの親の読み聞かせの姿勢の中でいくつか特徴的なところをいくつかあげてみよう。まず、読み聞かせの開始期が非常に早いという点である。1才以前に読み聞かせをはじめる親が70%近くいるのである。なぜこのように早くからはじめるのか。

同時に、読み聞かせの終止期に関して、子どもが成長するにつれてもという親が50%近くもいるという事実がある。これもなぜなのか。

また、両親共に読み聞かせが好きという親が70%近くもいるのである。アメリカの親はなぜこれほどまでに読み聞かせに関心をもちつづけるのだろうか。